

シンガポール取引所(SGXL)

テクノロジー関連の設備投資に 6,000-6,500 万 SGD 投じる計画、デリバティブを中心に業績拡大の可能性も

シンガポール | 証券・商品先物取引 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG SGX:SP | REUTERS SGXL.SI

- 2019/6 期 1Q (7-9 月) は、営業収益が前年同期比 2.2%増の 2.08 億 SGD、営業利益が同 0.4%増の 1.06 億 SGD、純利益は同 0.4%増の 9,110 万 SGD となった。
- 2019/6 通期会社計画は、営業費用が 4.45-4.55 億 SGD、テクノロジー関連の設備投資が 6,000-6,500 万 SGD。
- 世界的に資本市場のボラティリティーが高まっており、2019/6 期 2Q (10-12 月) はデリバティブを中心に収益を伸ばす可能性もあろう。

What is the news?

10/19 発表の 2019/6 期 1Q (7-9 月) は、営業収益が前年同期比 2.2%増の 2.08 億 SGD、営業利益が同 0.4%増の 1.06 億 SGD、純利益は同 0.4%増の 9,110 万 SGD。デリバティブ取引は伸びた一方、世界的な証券市況の悪化やエマージング市場の冷え込みにより現物市場は低調だった。1Q 中、債券関連のプラットフォームやポストトレードの新規システムの構築を目的にテクノロジー関連の設備投資を 1,020 億 SGD 行った。併せて増配も発表。四半期配当を前年同期の 0.05SGD から 0.075SGD へ引き上げた。

セグメント別の営業収益は以下の通り。株式・債券関連業務は同 13%減の 8,640 万 SGD。そのうち上場関連収益は、同 12%減の 1,950 万 SGD。債券の新規上場が前年同期の 347 銘柄から 247 銘柄と減少。新規公開株は 6 銘柄と前年同期から横ばいであったものの吸収金額は 27 億 SGD から 2 億 SGD へ減少した。有価証券トレーディング・クリアリング収益は同 8%減の 4,690 万 SGD。株式の 1 日あたりの平均売買代金は同 8%減の 10.7 億 SGD、売買代金合計は同 8%減の 675 億 SGD であった。ポスト・トレードサービス収益は同 24%減の 2,000 万 SGD。決済金額の減少や DVP 手数料率の引き下げが響いた。一方、デリバティブ関連業務は同 20%増の 9,770 万 SGD と伸びた。約定枚数は同 17%増の 5,420 万枚となった。現物市場でのボラティリティーの高まりを受け SGX FTSE China A50 先物の取引枚数が伸びたほか、米ドル/人民元、インドルピー/米ドルの為替先物取引が活発だった。マーケットデータ&コネクティビティ業務は、同 2%増の 2,470 万 SGD だった。デリバティブ取引の API サブスクライバーが増加したほか、コロケーションサービスが引き続き伸びた。

How do we view this?

2019/6 通期会社計画は、営業費用が 4.45-4.55 億 SGD、テクノロジー関連の設備投資が 6,000-6,500 万 SGD。2019/6 通期市場予想は、営業収益が前期比 3.4%増の 8.73 億 SGD、当期利益が同 3.0%増の 3.74 億 SGD である。12/7 に発表した 11 月の取引統計によると、現物市場の売買代金合計は前年同月比 24%減の 216 億 SGD。一方、金融デリバティブの取引枚数は同 9%増の 1,960 万枚、商品デリバティブは同 32%増の 188 万枚と伸びた。世界的に資本市場のボラティリティーが高まっており、2019/6 期 2Q (10-12 月) はデリバティブを中心に収益を伸ばす可能性もあろう。

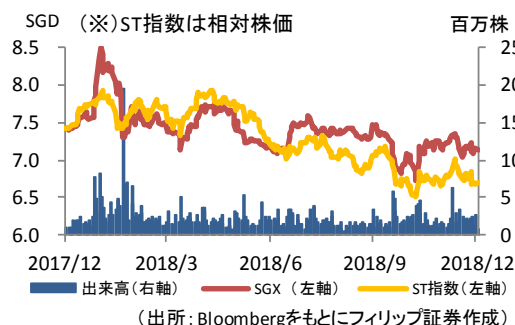
 配当予想 (SGD) **0.31** (予想はBloomberg)
 終値 (SGD) **7.06** 2018/12/26

会社概要

1999年設立。アジアを代表する資本市場インフラであり、取引所やクリアリングハウスの所有、運営を行っている。株式、債券からデリバティブ商品までマルチ・アセットに対応しており、上場から取引、清算、決済、保管およびデータサービスまでに至る、総合的なサービスを提供している。上場株式の40%がシンガポール国外の発行体のものであるほか、上場公社債の75%が国外で組成されたものであり、アジアで最も国際化が進んでいる取引所である。デリバティブ商品では、アジアの株価指数やコモディティ、通貨を原資産とした商品まで、一連の商品を提供しており、中国、インド、日本、アセアンの株式指数を原資産とした商品では、世界で最も流動的なオフショア市場である。アジアの清算機関のパイオニアとしてリスクマネジメントや決済キャパシティ世界的に定評があるほか、世界で初めてBIS支払・決済システム委員会と証券監督者国際機構専門委員会の定めた「金融市場インフラのための原則」(Principles for financial market infrastructures)を採用した取引所である。信用格付けはAAA格。

企業データ (2018/12/27)

ベータ値	0.76
時価総額(百万SGD)	7,652
企業価値=EV(百万SGD)	6,811
3ヵ月平均売買代金(百万SGD)	16.4



主要株主 (2018/12)	(%)
1.SEL HOLDINGS PTE LTD	23.36
2.Vanguard Group Inc	2.14
3.ブ ヲック	1.68
(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)	

アナリスト

増淵 透吾
 togo.masubuchi@phillip.co.jp
 +81 3 3666 0707
 庵原 浩樹
 +81 3 3666 6980
 hiroki.ihara@phillip.co.jp

業績推移

※参考レート 1SGD=81.15円

事業年度	2016/6	2017/6	2018/6	2019/6F	2020/6F
営業収益(百万SGD)	818	800	844	873	889
当期利益(百万SGD)	349	339	363	374	400
EPS(SGD)	0.33	0.32	0.34	0.35	0.38
PER (倍)	21.39	22.06	20.76	20.17	18.58
BPS(SGD)	0.92	0.97	1.02	1.02	1.07
PBR (倍)	7.67	7.28	6.92	6.92	6.60
配当(SGD)	0.28	0.28	0.30	0.31	0.32
配当利回り (%)	3.97	3.97	4.25	4.39	4.53

(出所: 会社公表資料をもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。